

令和4年度
研究集録

幼稚園教育要領等の趣旨を ふまえた園経営の工夫

全国国公立幼稚園・こども園長会

はじめに

全国国公立幼稚園・こども園長会
会長 箕輪 恵美

現在、国では中央教育審議会の下、これからの時代を見据えた教育の在り方について、「次期教育振興基本計画」の策定作業をはじめ様々な検討が進んでいます。「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」も、2月末に開催される会議をもって最終のとりまとめがなされる予定です。国公立の幼稚園・こども園の園長は自園の教育活動や経営の充実を図るとともに、公の幼児教育機関の長として、このような国の動向も注視しながら地域や日本の幼児期の教育のためにも貢献する役割を期待されています。その役割を果たすためには、各園長が常に学び続けることが重要です。

少子化や幼児教育・保育の無償化の影響で園数の減少が続く中においても園長が学び続けるためには、地域を超えて学び合うことが今まで以上に必要です。しかし、園の小規模化やこども園化により、園長が研修に出向くことが難しい状況も増えつつあります。そのような中、本研究集録は、国公立の園長が園を空けることなく全国各地の実践に学ぶことができる貴重な資料です。

国公幼が全国組織である、という強み、また、国公立の各園が幼稚園教育要領及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に則った教育の実践に努めている、という特徴を生かし、本会では例年、全国7つのブロックから園経営の工夫や教育の質向上に資する実践を集め、研究集録を発行しています。今年度の研究集録の研究テーマは「幼稚園教育要領等の趣旨をふまえた園経営の工夫」です。

国公立の各園が向き合うべき今日的課題から幼児期の教育の本質に迫る内容まで、7つの実践から得られた気づきや学びが各園の経営や日々の教育に生かされることを願っております。また、本研究集録を、国公立の園長が学び続ける姿勢の証しとして、自治体の幼児教育関係者や各園のご関係の皆様にも広くご紹介いただければ幸いです。

結びに、公務ご多用の中、貴重な実践をご提供いただきました先生方に、深く感謝申し上げます。